

グリーン四国

No.1262
2025年
5月号

「令和7年度四国森林管理局の 重点取組事項」を公表

【詳細は2頁】



まんのう公園のネモフィラ

目次

- ・「令和7年度四国森林管理局の重点取組事項」を公表 2
- ・春の「緑の募金」街頭募金活動～豊かな緑に恵まれた社会の持続～ 4
- ・日本固有の希少な樹木「トガサワラ」勉強会を開催 4
- ・「滑床溪谷」山開き神事に併せてかんたん木工教室を開催 6
- ・着任あいさつ 7
- ・新規採用者の紹介 9



四国山の日

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30

T E L 088-821-2052
H P <https://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>
E-mail shikoku_soumu@maff.go.jp

「令和7年度四国森林管理局の重点取組事項」を公表

〈局企画調整課〉

4月4日（金）、「令和7年度四国森林管理局の重点取組事項」を公表しました。

(<https://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/press/kikaku/250404.html>) 本記事末尾に二次元コードも掲載しております)

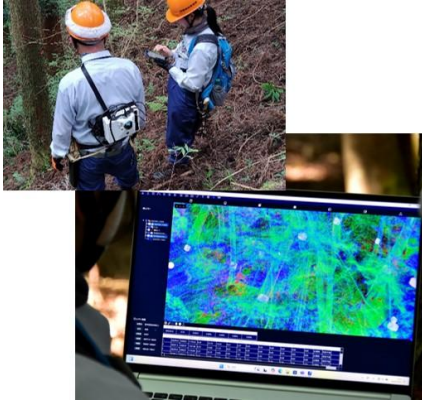
国有林野の管理経営に関する基本計画（令和5年12月策定）では、国有林野の公益重視の管理経営を一層推進するとともに、その組織・技術力・資源を活用して、森林・林業施策全体の推進に貢献することとしています。

これを踏まえ、四国森林管理局においては、四国の国有林の管理経営の取組について知っていただくために、「重点取組事項」を毎年度作成しております。

今年度は、Ⅰ.「新しい林業」に向けた取組の推進、Ⅱ.地域に貢献する国有林、Ⅲ.公益重視の管理経営の一層の推進の3つを柱として業務に取り組むこととしています。

【取組の柱Ⅰ】 「新しい林業」に向けた 取組の推進

再造林の省力化・低コスト化に資する、伐採と造林の一貫作業システムの推進、冬下刈りの導入や下刈り回数削減、林業のデジタル化による生産性向上等に取り組みます。また、林業生産活動に適した森林を「特に効率的な施策を推進する森林」に指定し、これらの取組を重点的に推進して、技術の普及等に活かします。



地上型3Dレーザスキャナによる森林資源調査



ドローンによる森林資源調査

【取組の柱Ⅱ】 地域に貢献する国有林

森林整備や治山対策等の計画的な実施、保安林の適切な管理や山地災害等発生時の迅速かつ適切な対応による安全・安心な暮らしの実現、地域の森林・林業を担う人材の育成、森林とのふれあいの場の提供などを通じて、地域に広く貢献します。



森林環境教育



復旧治山工事



河畔林の保全

【取組の柱Ⅲ】
公益重視の管理経営の一層の推進
森林の機能類型に応じた計画的な管理経営、多様で健全な森林づくり、生物多様性の保全、獣害対策の推進などを通じて、森林の公益重視の管理経営の一層の推進を図ります。また、花粉発生源対策として、スギ人工林の伐採と花粉の少ない苗木への植替え等を進めます。

また、今年度は以下の取組等についても、新たに重点取組対象としています。
・「緑の守り手」認定事業者制度
・デジタル機器を活用した林道災害調査
・森林総合監理士養成研修
四国森林管理局としては今回整理した重点取組事項に基づき、令和7年度においても引き続き取組を進めてまいります。



シカ捕獲わな「こじやんと1号」



林業アカデミー実習への協力

なお、令和7年度の四国森林管理局の主な事業量は別表のとおりです。



デジタル機器による災害調査

【別表】主要事業量（県別）

		徳島県		香川県		愛媛県		高知県		計	
伐採量 (收穫量)	主伐	45千㎡	(39千㎡)	33千㎡	(23千㎡)	125千㎡	(83千㎡)	556千㎡	(512千㎡)	759千㎡	(656千㎡)
	間伐	12千㎡	(11千㎡)	5千㎡	(3千㎡)	78千㎡	(85千㎡)	249千㎡	(222千㎡)	343千㎡	(322千㎡)
木材供給量 (分荷品含まない)	製品 (丸太)	7千㎡	(6千㎡)	4千㎡	(4千㎡)	53千㎡	(50千㎡)	150千㎡	(149千㎡)	214千㎡	(210千㎡)
	立木	18千㎡	(17千㎡)	11千㎡	(9千㎡)	32千㎡	(31千㎡)	180千㎡	(179千㎡)	241千㎡	(236千㎡)
森林整備	植栽 (新植)	8ha	(18ha)	20ha	(21ha)	29ha	(5ha)	140ha	(143ha)	187ha	(187ha)
	下刈り	0ha	(5ha)	59ha	(47ha)	80ha	(74ha)	500ha	(487ha)	639ha	(614ha)
	間伐	84ha	(89ha)	37ha	(29ha)	637ha	(647ha)	1,743ha	(1,775ha)	2,501ha	(2,540ha)
林道整備	新設	0m	(0m)	0m	(0m)	300m	(300m)	160m	(530m)	460m	(830m)
治山事業	国有林野内 直轄治山	3箇所	(5箇所)	2箇所	(3箇所)	3箇所	(2箇所)	24箇所	(19箇所)	32箇所	(29箇所)
	民有林野内 直轄治山	6箇所	(6箇所)	-	-	-	-	19箇所	(19箇所)	25箇所	(25箇所)
	計	9箇所	(11箇所)	2箇所	(3箇所)	3箇所	(2箇所)	43箇所	(39箇所)	57箇所	(54箇所)

注1) 事業量は、令和7年度当初予定の事業量で、令和6年度からの繰越事業量を含む。
() 内は令和6年度当初予定の事業量で、令和5年度からの繰越事業量を含む。
注2) 各事業量は四捨五入により計が一致しない場合がある。



四国森林管理局
重点取組事項

春の「緑の募金」 街頭募金活動 ～豊かな緑に 恵まれた社会の持続～

〈局技術普及課〉

公益社団法人高知県森と緑の会主催により、毎年「春の募金強化月間」(3月1日～5月31日)の一環として行われる春の「緑の募金」街頭募金活動が、4月20日、高知市帯屋町商店街一帯で行われました。

出発式では、川田理事長より日頃のご協力への感謝と、森林を守っていくことの大切さが伝えられ、高知市の桑名市長(代読)からの祝辞を兼ねた挨拶では、誰でも参加できる身近なボランティアであると呼び掛けられました。当局から参加した近藤森林整備部長も、緑の少年団やボランティアの皆さんと一緒に、道行く人にあいさつをしながらチラシを配り、未来に続く森林づくりへの支援を呼びかけました。

チラシを受け取っていただけるだけで募金活動の広がりを感じ、うれしい気持ちになりました。

皆様にご協力いただいた募金は、植樹活動や緑化事業、子どもたちへの森林環境教育に使われます。将来を担う子どもたちが、安心して暮らせる環境をつくるために、森林を後世へと引き継いでいくことの重要性を改めて感じました。

森と緑の普及活動が、多くの国民に広がっていくことを期待します。



日本固有の希少な樹木 「トガサワラ」 勉強会を開催

〈安芸森林管理署〉

4月25日、谷山北平山国有林において、マツ科の針葉樹、トガサワラについての勉強会を開催しました。今回の勉強会は、「高知県立牧野植物園と四国森林管理局の研究協力協定」に基づき、高知県立牧野植物園植物研究課植物調査班長であり、樹木医・芸芸員である藤井聖子氏をお迎えし、大変希少な樹木として知られるトガサワラの特徴や生態、歴史等を学ぶため、安芸森林管理署の若手職員外13名が勉強会に参加し、トガサワラに関する理解を深めました。

勉強会ではまず、日本のトガサワラの希少性についてうかがいました。アメリカにおけるトガサワラは近縁種ではあるもののアメリカトガサワラと呼ばれるものであり、「ダグラスファー」や「オレゴンパイン」など多くの別名を持ち、代表的な木材として広く知られています。

一方、日本のトガサワラは、日本固有種であり紀伊半島の大台ヶ原山系と四国東部の魚梁瀬地方という限られた地域にしか自生しない希少な樹木の種類です。その希少性から日本のトガサワラは世界からの注目を集め、海外の名門大学の研究者をも魅了しています。

また、トガサワラが歩んできた歴史についてもご教授いただきました。現在、日本の一部地域にのみひっそりと生えているトガサワラですが、もともとどこからやってきたのでしょうか。藤井氏曰く、トガサワラは約3400万年もの昔、アメリカ大陸からベーリング海峡を渡って日本に到達したものが祖先のようです。そのような話をうかがったとき、トガサワラに秘められたロマンを認識するとともに、かの樹木が有する雄大な歴史に驚嘆の念を禁じえませんでした。



【撮影者：県立牧野植物園 藤井 聖子】

トガサワラ勉強会では、藤井氏の豊富な知識と熱意に裏打ちされたご教授を賜り、トガサワラをはじめとする国有林内の様々な植物に対する理解と崇敬を深めることができました。藤井氏のご講義に参加した職員一同、新たな学びを得るとともに、多様かつ貴重な自然を擁する山林を将来世代に継承しなければならぬという決意を新たにすると、勉強会になりました。



「滑床溪谷」 山開き神事に併せて かんたん木工教室を開催

〈愛媛森林管理署〉
〈四万十川森林ふれあい
推進センター〉

○概要

4月24日、鮮やかな新緑の中、宇和島市と松野町にまたがる愛媛森林管理署管内滑床山（なめとこやま）国有林の足摺宇和海国立公園「滑床溪谷」で、松野町などが主催する山開き神事が行われました。また、併せて松野町が整備した滑床ビジターセンター「万年荘」の落成式も開かれました。山開きでは、両市町の関係者や地元住民ら約80名が大型連休を前に入山者の安全と観光振興を祈願しました。

町内二小学校の4年生児童で構成される森の国緑の少年団の20名も参加し、アマゴの稚魚約40匹を四万十川の主な支流の一つである目黒川に放流しました。

神事後、松野町から依頼を受けた当センターが、愛媛森林管理署の協力を得て、かんたん木工教室を開催しました。

○かんたん木工教室

今年は、新「万年荘」の外テラスに松野町ふるさと創生課が長机や椅子を配置してくださり、木製の「便利なスマホ台」作りをしました。

使っているキットのパーツは4種類で、下絵を描いた板はスギ、三角の角材はヒノキ、スマホを乗せる板はキリを使い、完成するとスマホやタブレットも乗せられるように軽い木、重たい木などの絶妙なバランスを計算して当センター職員が板や角材を加工して手作りで作ったものです。また、木製ピンチは既製品を調達しました。

児童達は、「メッチャ楽しい。」と言って、ほのかに香る木の香りや肌触りの良さを感じながら、色を塗って仕上げました。

○おわりに

当センターでは、この滑床の自然のすばらしさを、地元の児童に森林環境教育を通じて引き続き伝えていきます。また、利用者には安全で快適に利用してもらえよう巡視等も続けたいと考えています。



山開き神事の様子



かんたん木工教室の様子



便利なスマホ台



計画保全部長 尾前 幸太郎

着任あいさつ

この度、4月1日付けで計画保全部長を拝命した尾前です。

四国森林管理局管内の勤務は初めてですが、前職の林野庁国有林野総合利用推進室勤務時代に出張で愛媛森林管理署管内を訪問したことや、さらにその5年ほど前に樹木採取権の設定にあたってのキャラバンで四十万森林管理署管内を訪問したことがありました。その2回の出張では、四国の一部しか勉強することができなかったもので、この度の転勤は、しっかりと腰を据えて四国を学ぶことができるチャンスと期待しているところです。仕事の面で学ぶことが多いのは勿論ですが、私生活の面でも、高知、四国の見どころ、名物など教えていただける大変有難いので、よろしくお願いいたします。

私の略歴については、4月号にも少し紹介されていましたが、平成4年に新規採用で林野庁管理部管理課に配属されたのち、現職に至るまで様々なポストを経験させていただきました。その中でも国有林関係が多く、本庁では5ポスト、北海道森林管理局管内3ポスト、東北森林管理局管内2ポストを経験し、合計約18年間、国有林でお世話になっております。

これまでの経験で一番印象に残っているのは、平成10年の国有林野事業の抜本的改革であり、その当時は本庁の業務第一課で係長をしております。この改革では、これまでの国有林経営の在り方を組織、要員、業務運営など多岐にわたり根本的に見直すことから始まり、国有林に勤務する職員の意識改革も必要でした。特に考え方を改めないといけない点は、私たちは国有林の地主ではなく、管理者だという認識です。

当然、責任を持って国有林を管理する立場からすると、地主的な考え方が当事者意識を持つてしっかりと管理できるような印象もありますが、やはり、国有林は国民共通の財産であり、国民の皆様から管理を任されている大切な森林であるという認識をしっかりと持つことが重要だと思います。

そういった意識は、むしろ若い世代の皆さんの方がちゃんとできていて、特別会計時代の経験が長い職員ほど、気を付けないといけないことだと思います。私も、そのあたりをしっかりと肝に銘じ、国民の皆様から安心して任せていただける国有林をめざして、皆様と一緒に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



森林整備部長 近藤 昭夫

着任あいさつ

このたび、四国森林管理局森林整備部長を拝命しました近藤です。自然と歴史・文化豊かな四国の地で、重要な職責を担わせていただくことに身の引き締まる思いです。

時代は「A」やソーシャルメディア・SNSといった「ニューメディア」による情報革新、DXの進展に加え、GX（グリーン・トランスフォーメーション）へと大きく舵を切る中、森林・林業・木材産業行政も大きな転換期を迎えていると感じています。

本格化する国内のカーボン・クレジット市場やETS（排出量取引制度）の動きは、森林が持つCO2吸収源としての価値を新たな収益機会へと広げる可能性を秘めています。また「30BY30」目標に向けた取組の推進など、持続可能な森林経営と生物多様性保全の両立も重要な課題です。

国際社会に目を向ければ、昨年ニューヨークの国連本部で開催された「未来サミット」において、安全保障／持続可能な開発／気候変動／デジタル／人権など地球規模の課題をカバーした新しい国際的合意である「未来のための協定」が採択されました。その中では、政策立案・意思決定プロセスに「若者の積極的な参画」を支援することも明示されたところです。

「気候変動への対応」「生物多様性の保全」「地域資源としての木材の活用」「持続可能な森林経営」。このような森林への多様なニーズに国有林としてどのように応えながら、豊かな森林を将来世代に繋げていくのか。時代の変化を柔軟に捉え、新たな価値を生み出す力を持つている若手職員の皆さんと一緒に未来の森林・林業・木材産業を議論したいと考えています。

地域のニーズを把握しながら、国有林が将来世代にとつてかけがえのない財産となるよう、尽力してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



新規採用者の紹介

① 出身地

② 趣味・特技

③ 社会人になっての抱負

保全課
多田 研人



①東京都
②旅行、ピアノ
③初めての四国で分からないことだらけですが、組織の一員として、業務運営・推進に貢献していけるよう頑張りたいです。

治山課
横川 佳依



①愛媛県
②お菓子作り、読書
③大学では土砂災害やリモートセンシングについて学んできました。今まで学んできたことだけでなく仕事に必要なことや興味がわいたことを積極的に学び、仕事に取り組みたいと考えています。少しでも早く一人前になれるよう頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

森林整備課
浦 遥佳



①高知県
②ゲーム
③社会人1年目でまだまだ分からないことが多いですが精一杯頑張ります。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

香川所
手塚 和仁



①栃木県
②合唱、ゲーム、読書
③初めての社会人生活、初めての四国ということで、なかなか慣れなかったり緊張したりすることもあります。少しずつ堅実に力をつけていきたいです。あとは、沢山うどんを食べること、瀬戸内の島に遊びに行くのも目標です！

徳島署
櫻井 拓海



①群馬県
②旅行、ゲーム
③大学では森林生態学を学び、卒業後は3年間国土交通省で土木関係の業務を行っていました。林野庁でこれまでの経験を生かすことができるように、日々努力していく所存です。まずは、わからない言葉を少しでも減らしたいと思います。

徳島署
福家 小珀



①徳島県
②弓道、おいしいものを食べる
③私は、林業系の高校に通っており林業の仕事に就くために努力してきました。憧れの仕事に就くことができたので、一日でも早く仕事を覚えて丁寧に素早く仕事をしていきたいです。

愛媛署
川畑 律翔



①兵庫県
②映画鑑賞、ディズニーにいくこと、手品
③まだまだわからないことだらけなので、積極的に行動して早く仕事に慣れたいです。楽しみながら仕事ができるようになれば良いと思います。一生懸命頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

四万十署
岸本 悠平



①大阪府
②家や現地でスポーツを観戦すること
③まずは健康第一に、様々なことにチャレンジしていきたいです。

四万十署
尾碕 蒼平



①高知県
②ゲーム、料理、絵を描く
③1年目でわからないことだらけですが、先輩方からたくさん学び吸収していきたいです。少しでも早く業務を覚え、精一杯やっていきたいです。

嶺北署
岡本 由惟

- ①高知県
- ②食べること、寝ること
- ③健康のために毎日早く寝て最低2食は食べるようにしようと思っています。それと自炊を始めたのでできる限り長続きさせたいです。

安芸署
玉井 凜

- ①愛媛県
- ②麻雀
- ③社会人として、自らに与えられた役割とその責任を自覚し職務に励んでいきます。業務に対して真摯に取り組むとともに、積極的な態度を見せていきたいです。

安芸署
中嶋 隆行

- ①高知県
- ②ゲーム、漫画
- ③分からないことだらけだけど、しっかり仕事を覚えたい。

経理課
宮崎 華栄

- ①高知県
- ②旅行、キャンプ、車、バイク
- ③新しく知ることばかりですが楽しみながら覚えていきたいです。体力も頑張ってつけていきます（笑）

保全課
渡部 徹

- ①愛媛県
- ②ランニング、登山
- ③愛媛で生まれましたが、仕事も愛媛で一度も他県に出たことはありませんでした。今回転職することを決意し、右も左も分からない状態です。林野庁の一員として、「自然を大切にする」をモットーに頑張っていきたいです。

治山課
森本 祐平

- ①高知県
- ②旅行、ドライブ、ツーリング
- ③以前の業務内容と異なり分からない事ばかりですが、周囲の皆さんに優しく教えていただいております。一日でも早く業務に慣れ、戦力になりたいとおもいますので、これからもご指導のほどよろしくお願いします。

森林整備課
三浦 志保

- ①香川県
- ②旅行、ドライブ
- ③積極的に学ぶ姿勢を大切に日々精進してまいります。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

資源活用課
片岡 祥平

- ①高知県
- ②ツーリング、キャンプ
- ③見聞きし取り組むことが新しく前職との違いに驚く新鮮な日々です。今は先輩・上司におんぶに抱っこ状態なので、1日でも早く業務を自分のものとして行うことができるよう、真摯にかつ楽しみながら仕事に向き合っていきたいです。

入林される皆様への注意事項

国有林に入林する際には、以下の事項について注意してください。

- ①草木やキノコなどの採取、樹木の伐採や損傷をしないでください。
- ②自然保護などのために立入が制限されている箇所へは入らないでください。
- ③ゴミは持ち帰りましょう。
- ④枯木や枯れ枝は危険ですので、近寄らないでください。
- ⑤タバコなど火の取扱いには十分注意してください。
- ⑥林道は未舗装箇所が多数あります。通行の際はご注意ください

登山は自己責任です。天候や登山情報を確認し、十分な装備で入山してください。また、ご家族へ行き先を告げるとともに、登山目的地を管轄する警察署等へ登山計画書を提出してください。